

第33回日本眼科学会専門医認定試験問題(2021)

**The 33rd Board Examination for Specialist
in Japanese Ophthalmological Society (2021)**

一般問題 100 問(解答時間 2 時間)

- 1 有窓性毛細血管があるのはどれか。2つ選べ。
 a 虹彩 b 毛様体 c 脈絡膜 d 網膜内層 e 網膜外層
- 2 Bruch 膜を透過型電子顕微鏡で観察すると5層構造になっている。
 最内層と最外層の組合せで正しいのはどれか。
 a 内膠原線維層———外膠原線維層
 b 内膠原線維層———脈絡毛細血管板の基底膜
 c 網膜色素上皮の基底膜———弾性線維層
 d 網膜色素上皮の基底膜———外膠原線維層
 e 網膜色素上皮の基底膜———脈絡毛細血管板の基底膜
- 3 生理的な房水の経路で正しいのはどれか。
 a 前房 → 線維柱帯 → Schlemm 管 → 集合管 → 上強膜静脈叢
 b 前房 → 線維柱帯 → Schlemm 管 → 上強膜静脈叢 → 集合管
 c 前房 → 線維柱帯 → 集合管 → 上強膜静脈叢 → Schlemm 管
 d 前房 → Schlemm 管 → 線維柱帯 → 上強膜静脈叢 → 集合管
 e 前房 → Schlemm 管 → 集合管 → 線維柱帯 → 上強膜静脈叢
- 4 病変と部位で正しい組合せはどれか。2つ選べ。
 a 硬性白斑———網膜神経節細胞層
 b 軟性白斑———網膜神経線維層
 c pachyvessel———脈絡膜毛細血管板
 d 嚢胞様黄斑浮腫———網膜外顆粒層
 e 軟性ドルーゼン———網膜色素上皮下
- 5 細隙灯顕微鏡で鏡面反射法による観察が適しているのはどれか。
 a Zinn 小帯 b 結膜上皮細胞 c 角膜上皮細胞 d 角膜内皮細胞 e 後囊下白内障
- 6 強角膜輪部から筋附着部までの距離が4番目に遠い外眼筋はどれか。
 a 内直筋 b 外直筋 c 上直筋 d 下直筋 e 上斜筋
- 7 ヒト視細胞のうち錐体細胞の数はどれか。
 a 約 120 万個 b 約 650 万個 c 約 1,200 万個 d 約 6,500 万個 e 約 1 億 2,000 万個
- 8 視神経乳頭の表在神経線維層に主として血液を供給する血管はどれか。
 a 網膜中心動脈 b 短後毛様動脈 c 毛様網膜動脈 d 長後毛様動脈 e Zinn-Haller 動脈輪
- 9 外境界膜に接しているのはどれか。2つ選べ。
 a Müller 細胞 b 神経節細胞 c 視細胞内節 d 視細胞外節 e 網膜色素上皮細胞
- 10 Schlemm 管の内径はどれか。
 a 約 10 μm b 約 100 μm c 約 300 μm d 約 700 μm e 約 1,000 μm
- 11 涙道の解剖で誤っているのはどれか。
 a 涙小管の周囲には Horner 筋がある。 b 涙小管垂直部の長さは約 3 mm である。
 c 総涙小管は内眼角腱に付着している。 d 鼻涙管は下鼻道外側壁に開口している。
 e 鼻涙管は膜性鼻涙管と骨性鼻涙管からなる。

- 12 眼部悪性腫瘍と好発部位の組合せで正しいのはどれか。
- a 脂腺癌———下眼瞼
 - b 悪性黒色腫———虹彩
 - c 基底細胞癌———上眼瞼
 - d 腺様嚢胞癌———涙腺
 - e 扁平上皮癌———涙嚢
- 13 自動静的視野検査で誤っているのはどれか。
- a 標準の視標サイズはⅢである。
 - b 標準の背景輝度は315 asbである。
 - c 負荷矯正レンズは年齢に応じて異なる。
 - d 初回検査は信頼性が低いため進行判定には用いない。
 - e mean deviation(MD)は視野の全体的な障害を反映する。
- 14 算術平均に適応しうるのはどれか。2つ選べ。
- a 小数視力
 - b 分数視力
 - c ETDRS 視力
 - d Snellen 視力
 - e logMAR 値
- 15 Goldmann 視野検査所見で誤っているのはどれか。
- a V/4e イソプタはI/4e イソプタより広い。
 - b 正常者では上方視野より下方視野の方が広い。
 - c Seidel 暗点はMariotte 盲点と離れているものをいう。
 - d Bjerrum 領域では左右眼の視野がオーバーラップする。
 - e 鼻側のイソプタが階段状を呈している場合、鼻側階段と呼ばれる。
- 16 Hess 赤緑試験で正しいのはどれか。2つ選べ。
- a 回旋を定量できる。
 - b 融像を除去している。
 - c 軌跡の大きい方が患眼である。
 - d 検眼には緑フィルターを装着する。
 - e チャートの1マスは10度相当である。
- 17 蛍光眼底造影で正しいのはどれか。
- a インドシアニングリーンは腎臓から排泄される。
 - b 腎機能低下があればフルオレセイン蛍光眼底造影は禁忌である。
 - c アナフィラキシーショック治療の第一選択薬はアドレナリンである。
 - d フルオレセイン蛍光眼底造影の小児に対する安全性は確立している。
 - e フルオレセイン蛍光眼底造影における最も多い副作用は掻痒感である。
- 18 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針で、研究計画書に記載すべき内容に挙げられていないのはどれか。
- a 個人情報の取扱い
 - b 統計的な解析に関する事項
 - c 研究に関する情報公開の方法
 - d 試料・情報の保管及び廃棄の方法
 - e インフォームド・コンセントを受ける手続
- 19 視覚障害の身体障害認定基準で誤っているのはどれか。
- a 視野障害は単独で1級認定となり得る。
 - b 視力障害と視野障害は、重複障害として合計指数で認定する。
 - c Goldmann 視野計による評価にはI/4, I/2 イソプタを用いる。
 - d 自動視野計による中心視野の評価には10-2プログラムを用いる。
 - e 自動視野計による周辺視野の評価にはエスターマンテストを用いる。

- 20 視覚障害者の誘導法で誤っているのはどれか。
- 杖を持っていない側に立つ。
 - 横に二人分の幅を確保し誘導する。
 - 椅子に座るときは手を座面や背もたれに誘導する。
 - 半歩前に立ち、両肩に手を添えてもらい歩調をそろえて歩く。
 - 階段手前では一度立ち止まり、「昇り(下り)の階段です」と声をかける。
- 21 A 町在住の 40 歳以上の全住民の眼科検査を 2021 年の一時点で行い、生活歴、嗜好、病歴の聴取を行った。どの研究デザインに分類されるか。
- 横断研究
 - コホート研究
 - 症例対照研究
 - メタアナリシス
 - 無作為化比較対照試験
- 22 3 歳児健診で誤っているのはどれか。
- 屈折検査は必須である。
 - 一次検査は家庭で行う。
 - 自治体により実施時期が異なる。
 - 母子保健法に基づき実施される。
 - 視力検査には Landolt 環を用いる。
- 23 学童期の近視発症または近視進行の危険因子で正しいのはどれか。2 つ選べ。
- 農村部に住む。
 - 屋外活動が多い。
 - 近くを長時間見る。
 - 両親とも近視がある。
 - 完全矯正眼鏡を使用する。
- 24 甲状腺眼症の活動性評価に用いられる項目 (clinical activity score) で誤っているのはどれか。
- 視力低下
 - 結膜の浮腫
 - 結膜の充血
 - 眼瞼の発赤
 - 上方視、下方視時の痛み
- 25 IgG4 関連眼疾患の 3 大病変で正しいのはどれか。3 つ選べ。
- 涙腺腫大
 - 外眼筋腫大
 - 顔面神経腫大
 - 後囊下白内障
 - 三叉神経腫大
- 26 眼窩骨折で緊急手術の適応となるのはどれか。
- 眼窩開放型骨折
 - 筋絞扼閉鎖型骨折
 - 髄液漏を伴う眼窩骨折
 - 頬骨骨折を伴う眼窩骨折
 - 鼻骨骨折を伴う眼窩骨折
- 27 Meibom 腺分泌物の働きで誤っているのはどれか。
- 涙液の蒸発を促進する。
 - 平滑な涙液表面を形成する。
 - 瞬目時に涙液層の伸展を促す。
 - 涙液の表面張力を低下させる。
 - 眼瞼縁で涙液の保持に寄与する。
- 28 涙小管炎の起炎菌で頻度が高いのはどれか。
- 真菌
 - 放線菌
 - 緑膿菌
 - 肺炎球菌
 - 黄色ブドウ球菌
- 29 眼瞼外反の原因となるのはどれか。
- 眼瞼けいれん
 - 動眼神経麻痺
 - 顔面神経麻痺
 - 眼瞼皮膚弛緩症
 - コンタクトレンズ装用
- 30 眼瞼けいれんの診断に有用でないのはどれか。
- 重度の羞明の有無
 - 眉間の深い皺の存在
 - 抗うつ薬などの内服歴
 - 片側下眼瞼の間欠性攣縮
 - 素早く瞬きをさせる瞬目テスト
- 31 結膜炎の起炎微生物で頻度が高いのはどれか。2 つ選べ。
- 淋菌
 - クラミジア
 - 黄色ブドウ球菌
 - インフルエンザ菌
 - エンテロウイルス

- 32 全層角膜移植後の角膜感染症で頻度が高いのはどれか。2つ選べ。
a MRSA b 大腸菌 c 緑膿菌 d 真菌 e アカントアメーバ
- 33 コンタクトレンズ(CL)の装用で正しいのはどれか。2つ選べ。
a 連続装用とは就寝時も連続して装用する方法である。
b 連続装用は我が国では最長2週間までを限度としている。
c 頻回交換型ソフトCLは2週間以内の装用なら消毒は必要ない。
d 定期交換型ソフトCLは2週間以内の装用なら蛋白質除去は必要ない。
e 終日装用とは起床後CLを装用し、就寝時まで以外に外す装用方法である。
- 34 眼部帯状疱疹で正しいのはどれか。3つ選べ。
a 角膜内皮炎は来さない。
b 神経痛が皮疹に先行する。
c 偽樹枝状角膜炎は軽度隆起している。
d 鼻部に皮疹が認められると、眼合併症が高率となる。
e ぶどう膜炎を合併しても副腎皮質ステロイドは使わない。
- 35 角膜浮腫を来すのはどれか。
a バクリタキセル b アマンタジン塩酸塩 c アミオダロン塩酸塩
d エタンブトール塩酸塩 e ヒドロキシクロロキン硫酸塩
- 36 Axenfeld-Rieger 症候群で正しいのはどれか。2つ選べ。
a 緑内障を合併する。 b 精神発達遅滞を認める。 c 水疱性角膜炎を合併する。
d 常染色体劣性遺伝である。 e Descemet 膜の欠損を認める。
- 37 眼球提供のドナーになり得るのはどれか。3つ選べ。
a 脳死 b C型肝炎 c 梅毒反応陽性 d 悪性リンパ腫 e 内眼手術の既往
- 38 光学的眼軸長測定装置で計測している部位はどこからどこまでか。
a 涙液層———内境界膜
b 涙液層———外境界膜
c 涙液層———網膜色素上皮
d 角膜上皮———内境界膜
e 角膜上皮———網膜色素上皮
- 39 混濁水晶体で減少するのはどれか。2つ選べ。
a ATP b 糖蛋白質 c 不溶性蛋白質
d 還元型グルタチオン e アルドース還元酵素活性
- 40 乳幼児の白色瞳孔で鑑別すべき疾患はどれか。3つ選べ。
a 先天緑内障 b 瞳孔膜遺残 c 網膜芽細胞腫
d 脈絡膜コロボーマ e 第1次硝子体過形成遺残(胎生血管系遺残)
- 41 網膜神経線維層欠損を生じないのはどれか。
a Coats 病 b 高血圧網膜症 c 乳頭小窩黄斑症候群
d 網膜静脈分枝閉塞症 e 上方視神経部分低形成
- 42 眼底に金箔様反射を認めるのはどれか。2つ選べ。
a 小口病 b 白点状眼底 c 先天網膜分離症 d クリスタリン網膜症 e 錐体杆体ジストロフィ

- 43 未熟児網膜症で正しいのはどれか。2つ選べ。
- 修正在胎週数 32 週前後に好発する。
 - 低出生体重，低出生週数が危険因子である。
 - 出生時体重 1,500 g 未満での日本における発症率は 90% 以上である。
 - ZoneⅢで血管伸長が不良な場合は注意を要する。
 - 網膜光凝固のみが承認された治療法である。
- 44 硝子体内ガス注入法による黄斑部血腫移動術が有効なのはどれか。
- 強度近視の単純出血
 - 増殖糖尿病網膜症の網膜前出血
 - 網膜細動脈瘤の内境界膜下出血
 - 滲出型加齢黄斑変性の網膜下出血
 - ポリープ状脈絡膜血管症の網膜色素上皮下出血
- 45 家族性滲出性硝子体網膜症でみられないのはどれか。
- 白色瞳孔
 - 硝子体出血
 - 車軸状黄斑分離
 - 滲出性網膜剝離
 - 裂孔原性網膜剝離
- 46 網膜障害を生じ得る薬剤で誤っているのはどれか。
- シンバスタチン
 - パクリタキセル
 - インターフェロン
 - タモキシフェンクエン酸塩
 - ヒドロキシクロロキン硫酸塩
- 47 急性帯状潜在性網膜外層症で正しいのはどれか。2つ選べ。
- 感冒様の症状をしばしば伴う。
 - 血清中の網膜自己抗体が陽性となる。
 - OCT で網膜色素上皮層の不明瞭化がみられる。
 - フルオレセイン蛍光眼底造影写真で病変部が過蛍光を示す。
 - 多局所 ERG で視野異常に一致した部位の振幅低下がみられる。
- 48 加齢黄斑変性で正しいのはどれか。2つ選べ。
- 萎縮型加齢黄斑変性では眼底自発蛍光が経過観察に有用である。
 - ポリープ状脈絡膜血管症では OCT で急峻な網膜色素上皮の隆起がみられる。
 - 1 型脈絡膜新生血管は OCTA では検出されない。
 - 光線力学療法は抗 VEGF 薬投与より視力改善効果が高い。
 - 抗 VEGF 薬反復投与で脈絡膜は肥厚する。
- 49 網膜血管腫状増殖で正しいのはどれか。2つ選べ。
- 両眼性が多い
 - 軟性ドルーゼン多発
 - 脈絡膜肥厚
 - 橙赤色隆起病巣
 - 大量網膜下出血
- 50 疾患と自覚の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。
- 黄斑上膜———大視症
 - Fisher 症候群———中心暗点
 - 多発消失性白点症候群———光視症
 - 卵黄様黄斑ジストロフィ———夜盲
 - エタンブトール視神経症———Mariotte 盲点拡大
- 51 Vogt-小柳-原田病の OCT 所見でないのはどれか。
- 急性期における脈絡膜の肥厚
 - 急性期における剝離した網膜内の隔壁
 - 急性期における網膜色素上皮の波うち像
 - 慢性期における網膜内層の肥厚
 - 慢性期における脈絡膜の菲薄化

- 52 Behçet 病で正しいのはどれか。
a 近年、増加傾向にある。
b HLA-A26 と関連がある。
c 前房蓄膿を構成している細胞はリンパ球である。
d 主症状の中で最も頻度が高いのはぶどう膜網膜炎である。
e 診断確定後は速やかに抗 TNF- α 抗体による治療を開始する。
- 53 感染性ぶどう膜網膜炎の原因で最も頻度の高い病原体はどれか。
a 連鎖球菌 b トキソカラ c トキソプラズマ
d 帯状疱疹ウイルス e ヒト T 細胞白血病ウイルス I 型
- 54 視神経乳頭炎を来さないのはどれか。
a 猫ひっかき病 b 乾癬性ぶどう膜炎 c サルコイドーシス
d 梅毒性ぶどう膜炎 e Vogt-小柳-原田病
- 55 サルコイドーシス臨床診断群に含まれる検査所見はどれか。3つ選べ。
a 血清リゾチーム高値 b 血清可溶性 IL-2 受容体高値 c 血清または尿中カルシウム高値
d ツベルクリン皮内反応陰性化 e 気管支肺胞洗浄で CD4/CD8 比上昇
- 56 副作用としてぶどう膜炎が起こり得る薬剤はどれか。
a ニボルマブ b アダリムマブ c ベバシズマブ d リツキシマブ e インフリキシマブ
- 57 ヒドロキシクロロキン網膜症で誤っているのはどれか。
a 標的黃斑症が出現する。 b OCT で網膜外層が菲薄化する。
c 投与後 2 年以内に出現しやすい。 d 傍中心窩領域の視野異常が生じる。
e 中心窩周囲に顆粒状変化がみられる。
- 58 眼虚血症候群にみられないのはどれか。
a 前房炎症 b 網膜斑状出血 c 網膜動脈の拍動
d 網膜静脈の蛇行拡張 e 網膜内循環時間の延長
- 59 先天代謝異常でムコ多糖症を来す疾患はどれか。2つ選べ。
a Lowe 症候群 b Hunter 症候群 c Bardet-Biedl 症候群
d Hurler-Scheie 症候群 e Chediak-Higashi 症候群
- 60 屈折検査における 2 色テスト(赤緑試験)で正しいのはどれか。2つ選べ。
a 2 色テストの前に乱視矯正を行う。
b 眼のコマ収差を利用した検査法である。
c 赤色光は緑色光より前方に焦点を結ぶ。
d 近視では赤地の視標が明瞭であれば過矯正である。
e 球面レンズの過不足をチェックする検査法である。
- 61 フォトレフラクション法(Spot™ Vision Screener)で正しいのはどれか。
a 偽陽性が多い。 b 器械近視が入りやすい。 c 乳幼児の眼鏡処方に用いる。
d 検査には調節麻痺薬を必要とする。 e 両眼開放下で屈折度と角膜曲率半径の同時測定ができる。
- 62 検影法で正しいのはどれか。
a 開散光を用いる。 b 固視目標は 1 m とする。 c 乳幼児では検査不能である。
d 板付きレンズは眼前 15 cm とする。 e +2.00 D のレンズで 1 m で中和すれば正視である。

- 63 斜視に対する A 型ボツリヌス毒素注射で正しいのはどれか。2つ選べ。
 a 適応は 20 歳以上である。 b 上下斜視には使用できない。
 c 麻痺性斜視には使用できない。 d 副作用の一つに眼瞼下垂がある。
 e 筋電図などで注射針の筋内挿入を確認する。
- 64 微小斜視で正しいのはどれか。2つ選べ。
 a 弱視はない。 b 内斜視に限られる。 c おおまかな立体視がある。
 d 眼位ずれは 5Δ 未満である。 e 4Δ 基底外方試験が診断に有用である。
- 65 Möbius 症候群でみられるのはどれか。
 a 瞳孔不同 b 外転神経麻痺 c 動眼神経麻痺
 d 内転時の瞼裂狭小 e 内転時の上転制限
- 66 斜視の病態で正しいのはどれか。
 a 感覚性斜視は内斜視である。 b 間欠性外斜視は複視を自覚しない。
 c 先天内斜視は生直後からみられる。 d 非屈折性調節性内斜視は眼鏡で治療する。
 e sagging eye 症候群は強度近視が原因である。
- 67 右眼は +2.00 D, 左眼は +6.00 D の眼鏡レンズで矯正されている。
 レンズ中心から 1 cm 下方を視線が通るときに生じる上下方向のプリズム効果の左右差はどれか。
 a 0Δ b 2Δ c 4Δ d 6Δ e 8Δ
- 68 色覚検査で正しいのはどれか。
 a パネル D-15 は色覚異常の型と程度を判定する。
 b パネル D-15 をパスすれば職業制限は受けない。
 c 仮性同色表が全く読めない場合は杆体 1 色覚である。
 d 標準色覚検査表 (SPP-1) は先天色覚異常にも読める数字が多い。
 e 石原色覚検査表 II で誤読 4 表以下であれば SPP-1 でも正常判定となる。
- 69 視神経乳頭の先天異常で誤っているのはどれか。
 a 傾斜乳頭症候群は視力不良である。
 b 小乳頭は前部虚血性視神経症の危険因子である。
 c 朝顔症候群では乳頭陥凹底に白色組織を認める。
 d 視神経乳頭コロボーマは眼杯裂の閉鎖不全による。
 e 透明中隔欠損と下垂体機能低下を伴うことがある。
- 70 うっ血乳頭で正しいのはどれか。
 a 視野欠損は生じない。 b 乳頭腫脹と同義である。
 c 片眼性のうっ血乳頭はない。 d 高度の視神経萎縮眼でも生じる。
 e 脳静脈洞血栓症が原因となり得る。
- 71 外傷性視神経症で正しいのはどれか。
 a 女性に多い。 b 眼窩骨折で生じる。 c 受傷眼の瞳孔が僚眼より大きい。
 d 受傷から発症まではおよそ 1 週である。 e 受傷から 2 週までは視神経乳頭は正常所見を示す。
- 72 水平半盲をしばしば来すのはどれか。2つ選べ。
 a 球後視神経炎 b 外傷性視神経症 c 虚血性視神経症
 d Leber 遺伝性視神経症 e 抗アクアポリン 4 抗体陽性視神経炎

- 73 小児の視神経炎で正しいのはどれか。
- a 片眼性が多い。
 - b 視力の予後は不良である。
 - c 初期に高度な視力障害を起こす。
 - d 副腎皮質ステロイド治療は控える。
 - e 球後視神経炎を呈することが多い。
- 74 MLF 症候群で正しいのはどれか。
- a 輻湊可能である。
 - b 輻湊後退眼振がみられる。
 - c 患側の外転制限がみられる。
 - d 両側性は脳梗塞によるものが多い。
 - e 滑車神経麻痺を合併することが多い。
- 75 左滑車神経麻痺で正しいのはどれか。2つ選べ。
- a 左眼下斜視になる。
 - b 左眼外方回旋を示す。
 - c 左眼外下転障害を示す。
 - d 右方視時に右眼上斜視になる。
 - e 左への頭部傾斜で左眼上斜視になる。
- 76 右眼の完全動眼神経麻痺と滑車神経麻痺を認める。矯正視力は右1.2。最も考えられる病変部位はどれか。
- a 橋
 - b 中脳
 - c 眼窩内
 - d 眼窩先端部
 - e 海綿静脈洞
- 77 原発小児緑内障の治療で正しいのはどれか。2つ選べ。
- a 弱視の治療を併用する。
 - b 点眼薬では α_2 受容体刺激薬を使用する。
 - c 手術治療の第一選択は線維柱帯切開術である。
 - d 核酸代謝阻害薬を併用した線維柱帯切除術は禁忌である。
 - e プレートのあるチューブシャント手術の成績は不良である。
- 78 OCTの乳頭周囲網膜神経線維層厚の測定結果に影響を与えるのはどれか。2つ選べ。
- a 性別
 - b 眼軸長
 - c 角膜厚
 - d ラーニング・エフェクト
 - e セグメンテーションエラー
- 79 悪性緑内障で正しいのはどれか。
- a 浅前房と低眼圧を呈する。
 - b 副交感神経作動薬の点眼が有効である。
 - c 瞳孔ブロック発生例よりも前房中央は浅い。
 - d Nd:YAGレーザーによる後嚢切開は無効である。
 - e Nd:YAGレーザーによる虹彩切開が有効である。
- 80 緑内障の進行に関わる危険因子はどれか。
- a 眼灌流圧が高い。
 - b 中心角膜厚が厚い。
 - c 視神経リム面積が大きい。
 - d 角膜ヒステレシスが低い。
 - e 乳頭周囲脈絡網膜萎縮の α 域が大きい。
- 81 緑内障の視野障害で正しいのはどれか。2つ選べ。
- a 実性暗点である。
 - b 乳頭出血を伴う例では進行が速い。
 - c 下半障害が上半障害に先行する例が多い。
 - d 後期緑内障の進行判定に中心30°内測定が最も重要である。
 - e 早期緑内障の50%以上の症例で中心10°内障害が生じている。

- 82 眼圧下降薬と副作用の組合せで誤っているのはどれか。
 a 交感神経 α_1 受容体選択性遮断薬——傾眠
 b 交感神経 α_2 受容体選択性作動薬——アレルギー
 c 交感神経 β 受容体遮断薬——喘息誘発
 d ROCK 阻害薬——結膜充血
 e プロスタグランジン F2 α 関連薬——眼瞼色素沈着
- 83 Schwartz 症候群を来すのはどれか。
 a 黄斑円孔 b 脈絡膜破裂 c 網膜振盪症 d 毛様体扁平部裂孔 e 網膜中心動脈閉塞症
- 84 分散型粘弾性物質の特徴はどれか。2つ選べ。
 a 吸引除去しやすい。 b 空間保持能力が高い。 c 術後眼圧上昇しやすい。
 d 角膜内皮保護効果が高い。 e コンドロイチン硫酸エステルナトリウムを含む。
- 85 選択的レーザー線維柱帯形成術 (SLT) で正しいのはどれか。
 a 波長は黄色である。 b 照射痕が観察できる。
 c 4面鏡の使用が推奨される。 d スポットサイズは 200 μm である。
 e 照射時の気泡を目安に出力を調整する。
- 86 白内障手術併用眼内ドレーン (iStent[®]) 挿入術で正しいのはどれか。
 a 術後の前房出血がない。 b 房水流出量を増加させる。
 c 偽水晶体眼にも適応がある。 d 挿入位置によって乱視軸が影響を受ける。
 e 眼圧下降度は線維柱帯切除術と同程度である。
- 87 全層角膜移植手術で使用する機器はどれか。2つ選べ。
 a カッチン角膜剪刀 b フリリング c カプセルエクパンダー
 d カフークデュアルブレード e バックフラッシュユニードル
- 88 白内障術後早期の感染性眼内炎の原因となるのはどれか。2つ選べ。
 a *Candida albicans* b *Propionibacterium acnes* c *Pseudomonas aeruginosa*
 d *Staphylococcus aureus* e *Staphylococcus epidermidis*
- 89 白内障術後の裂孔原性網膜剝離の発生頻度はどれか。
 a 0.05% b 0.1% c 0.5% d 1% e 5%
- 90 成人の後天鼻涙管閉塞に対する処置で適切でないのはどれか。
 a 涙嚢洗浄 b 涙嚢プジー c 涙道内視鏡検査
 d 涙嚢鼻腔吻合術 e 内視鏡下涙管チューブ挿入術
- 91 涙点プラグ挿入術で正しいのはどれか。
 a 涙点のサイズを測定する。 b プラグは下涙点から挿入する。
 c プラグ脱落后は再挿入できない。 d プラグの素材はアクリルである。
 e 埋没したプラグは自然に鼻腔に流れる。
- 92 結膜嚢形成術の適応疾患で誤っているのはどれか。
 a 熱傷 b 眼瞼腫瘍 c 結膜弛緩症 d 上輪部角結膜炎 e 神経麻痺性角膜症
- 93 線維柱帯切除術後早期の浅前房に関連するのはどれか。3つ選べ。
 a 前房出血 b 結膜穿孔 c 悪性緑内障 d 硝子体出血 e 毛様体剝離

94 正しい濃度の組合せはどれか。2つ選べ。

- a 硝子体腔液空気置換時のSF₆—————30%
- b 点眼麻酔時のリドカイン塩酸塩—————4%
- c 眼瞼消毒時のポビドンヨード液—————100%
- d 眼灌流液に用いるオキシゲルタチオン—————1.84%
- e 硝子体手術時の硝子体可視化のためのトリウムシノロンアセトニド—————1%

95 網膜光凝固で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 虚血網膜に対する凝固では網膜浅層を凝固する。
- b パターンキャンレーザーでは術後凝固斑が小さくなる。
- c 凝固斑の中央に白いスポットが出る程度の強さが適する。
- d パターンキャンレーザーでは患者の疼痛が通常のレーザーより強い。
- e 中間透光体混濁例では緑色レーザーより赤色レーザーの方が良い適応である。

96 トリウムシノロンアセトニド硝子体内注射の適応で承認されているのはどれか。

- a 加齢黄斑変性
- b 糖尿病黄斑浮腫
- c 白内障術後の黄斑浮腫
- d 網膜静脈閉塞に伴う黄斑浮腫
- e 非感染性ぶどう膜炎に伴う黄斑浮腫

97 外方回旋偏位が増大する術式はどれか。

- a 上直筋後転術
- b 下直筋後転術
- c 下直筋鼻側移動
- d 上斜筋前部前転術
- e 下斜筋後転術

98 術式と疾患の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a Knapp 法—————double elevator palsy
- b Jensen 法—————動眼神経麻痺
- c Anderson 法—————眼位性眼振
- d Kestenbaum 法—————外転神経麻痺
- e Hummelsheim 法—————滑車神経麻痺

99 内境界膜剝離術で正しいのはどれか。3つ選べ。

- a 細菌性眼内炎で用いられる。
- b 特発性黄斑円孔で用いられる。
- c 粘弾性物質を使用する。
- d 後部硝子体剝離の後に行う。
- e 術後視野障害の原因となる。

100 Irvine-Gass 症候群で正しいのはどれか。3つ選べ。

- a 低眼圧になる。
- b 白内障術後に生じる。
- c びまん性黄斑浮腫を生じる。
- d 副腎皮質ステロイド投与が有効である。
- e 抗 VEGF 薬硝子体内注射が有効である。